

特別寄稿



KACST 副総裁 トルキー殿下
 H. H. Dr. Turki Saud Mohammed Al-Saud
 Vice President for Research Institutes
 King Abdulaziz City for Science and Technology (KACST)

KACST 副総裁トルキー殿下はサウジアラビア国王家のご出身です。国家科学技術計画評議会議長をはじめ様々な要職で、サウジアラビアの科学技術発展の中心的な役割を担っておられます。日本へのご理解も深く、長年にわたりサウジアラビアにおける JCCP の事業にご支援をいただけてきました。

JCCP 創立 30 周年記念にあたり、JCCP ニュースに寄稿させていただけることを光栄に存じます。私は 2008 年 6 月、JCCP の招待で来日した際に、JCCP 本部訪問の機会に恵まれました。日本での滞在中、JCCP の取り計らいによって、ジャパンエナジー(株)精製技術センター(当時)、(財)資源・環境観測解析センター(ERSDAC)^{*1}、トヨタ自動車(株)、(独)産業技術総合研究所(AIST)などを訪問することができました。大変有意義なディスカッションができ、またそのとき拝見した技術には強く感銘を受けました。

訪問期間中、KACST と JCCP の協力関係について話し合う機会も得ました。2006 年に、InSAR(干渉合成開口レーダー)を利用してサウジアラビアの地表面の変動をマッピングするプロジェクトを開始していましたが、話し合いの結果をそのプロジェクトに反映させることができました。このプロジェクトにおいて、サウジアラビアの研究者たちが東京で InSAR のデータ分析に関するトレーニングを受けることができ、大変嬉しく思っております。InSAR プロジェクトは 2008 年末までに終了しましたが、私たちは次に精密制御定常信号システム(ACROSS)^{*2}を利用して地表下の 3 次元的な変動をマッピングする新しい試みを始めました。これは最初のプロジェクトの補完を目的としたものであり、地表および地

表下の変動を監視するシステムの完成を目指したものでした。2012 年には、プロジェクトの目的である地盤変動の把握に関する科学的な業績の発表のため、KACST と JCCP が共同で国際ワークショップを企画し、サウジアラビアのみならず中東および世界各国からもスピーカーを招きました。ワークショップ参加者には ACROSS プロジェクトの現場を視察していただきましたが、プロジェクトの達成内容は、参加者の方がたを驚かせるのに十分なものでした。

振り返って考えてみますと、KACST と JCCP の協力関係は実に実り多きものでした。この研究は、将来的には地表および地表下の監視技術に関して大きな影響を与えるものと考えています。また、協力関係がもたらす結果は日本・サウジアラビア両国にとって有益なものであり、絆をさらに深めてくれるものでもであると信じています。

^{*1} 現在、(財)宇宙システム開発利用推進機構

^{*2} ACROSS (Accurately-Controlled Routinely-Operated Signal System: 精密制御定常信号システム)

～職員交代のお知らせ～

退任

中東事務所



八木 正一郎 (平成24年7月31日付)

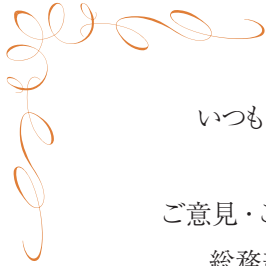
異動

技術協力部 → 中東事務所



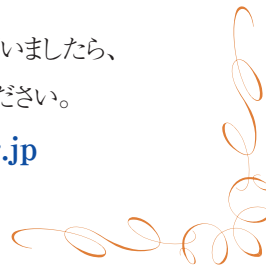
西村 淳 (平成24年8月1日付)





いつも JCCP ニュースをご愛読いただきまして、
ありがとうございます。
ご意見・ご感想・ご住所の変更等がございましたら、
総務部企画広報グループにお寄せください。

E-mail: planning@jccp.or.jp



編集後記

本号では巻頭に、サウジアラビア KACST 副総裁トゥルキー殿下にご寄稿をいただきました。JCCP 事業を通して、サウジアラビアと日本の絆を大切にお考えになっていらっしゃる事が伝わる大変嬉しい内容です。

卒業生の近況報告として、お二方からメッセージを頂きました。JCCP 研修と日本文化・習慣からも大変多くのことを吸収し、それらを今の職場で上手に活用なさっていることが良くわかりました。次号にも卒業生の近況報告をお届けできればと思います。

今年はりヤドとアブダビの海外事務所長が変わりましたので、中東便りでご紹介させていただきました。両所長とも中東在住経験が何度もあるため、それぞれの国への思い入れが感じられる内容です。アブダビとリヤドをご訪問の際は JCCP の海外事務所にぜひお立ち寄りください。

総務部企画広報 北原 ますみ



JCCPニュース

No.210 冬号

発行日：平成 24 年 11 月 26 日

<本 部>

〒170-6058

東京都豊島区東池袋 3 丁目 1 番 1 号

サンシャイン 60 ビル 58 階

● 総務部

TEL. 03-5396-6000 FAX. 03-5396-6006

● 業務部

TEL. 03-5396-6001 FAX. 03-5396-6006

● 研修部

TEL. 03-5396-6909 FAX. 03-5396-6006

● 技術協力部

TEL. 03-5396-8021 FAX. 03-5396-8015

URL▶ <http://www.jccp.or.jp>

E-mail▶ webmaster@jccp.or.jp

<海外事務所>

● 中東事務所

#904, Al-Ghaith Office Tower, Hamdan St.

P.O.Box: 51828, Abu Dhabi, U.A.E.

TEL. (971) 2-627-4410 FAX. (971) 2-626-2166

● リヤド事務所

Al Oula Building, 5th Floor, Flat No. 508

Al Mohamadiya, King Fahad Road,

P.O. Box No. 61356

Riyadh 11565, Kingdom of Saudi Arabia

TEL. (966) 1-207-9540 FAX. (966) 1-207-9539

編集・発行



一般財団法人

国際石油交流センター

Japan Cooperation Center, Petroleum (JCCP)

※ 本誌の内容を無断で複写複製転載する事を禁じます。